



第2回

京都アカデミアセミナー

点と点を繋ぎ「あるべき姿」を育むーこれからの地球のために

国連グローバルコンパクト

持続可能な発展への「17の目標」

10年後（2030年）の地球のために「今できること」

2020年2月13日（木）18:00～21:00

会場：京都アカデミアフォーラム in 丸の内（東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階）

定員：120名 参加費：無料

主催：京都外国語大学 校友会東京支部 グローバルスタディワークショップ

共催：京都外国語大学 協力：アステリ株式会社

世界中で環境、既存の社会の枠組み等、過去50年間で構築されてきた様々な「形」が壊れ、変化していく過渡期の今、国連グローバルコンパクト（持続可能な開発目標）の視点から、「10年後からみた今 - 私達にできること（現状と課題）」について考察します。

業種・業界の異なる3名の講師陣が：①SDGs17の目標の内、地球環境に密接に関連するエネルギー問題について多面的な側面から現状と課題を考察、②企業の観点から、サステナブル・ファイナンス投資の現状と課題について解説、③これまでの人類発展に密接に繋がるサービス・物の貿易や国境を超えた人の移動といった環境が今後どのように変化していくのか、またそれらの変化に対応する形のSDGsとはどのようなものかについて考察し、参加者の皆様と話し合います。

申込方法

QRコードまたはURLよりWEB登録
フォームにアクセスしお申込ください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S87956625/>



プログラム

司会：京都外国語大学校友会 東京副支部長 青木光子

- 18:00-18:05 オープニング
京都外国語大学校友会 東京支部長 利根川 正則
- 18:05-18:30 「持続可能な世界構築の視点からみた世界のエネルギーの展望と課題」
京都外国語大学 国際貢献学部 グローバルスタディーズ学科
教授 黒住 淳人
- 18:30-18:55 「サステナブル・ファイナンスの動向」
メリルリンチ日本証券株式会社 取締役副社長 林 礼子
- 18:55-19:10 休憩
- 19:10-19:30 「WTO と SDGs- 持続可能な貿易の形」
アステリ株式会社 代表取締役 大嶋 和香子
- 19:30-20:00 パネルディスカッション & 質疑応答
司会進行：アステリ株式会社 高田 優文
- 20:00-20:05 クロージング挨拶
京都外国語大学校友会東京支部長 利根川 正則
- 20:10-21:00 ネットワーキング



講師紹介



黒住 淳人

(株)日本政策投資銀行 (DBJ)、国際エネルギー機関 (OECD/IEA)、(株)日本経済研究所を経て現職。京都大学、ノースウェスタン大学経営大学院 (Kellogg) 卒。DBJ で従事した主な分野は①エネルギー・環境関連投融资、②国際協力、国際統括、ワシントン事務所首席など国際関連 (世銀や国連環境計画との連携を含む)、および③経済・産業調査。1990 年代と 2010 年代の 2 度 8 年間にわたり、エネルギー全般を

対象とする国際機関 IEA (仏パリ) に在籍し、旗艦プロジェクト「ワールド・エネルギー・アウトLOOK」の各年版に携わる。その間「気候変動」(2013、2015)「投資」(2014)「東南アジア」(2015)「大気汚染」(2016) をテーマにした特別報告にも参画。著書に『「世界エネルギー展望」の読み方」(エネルギーフォーラム)。

「持続可能な世界構築の視点からみた世界のエネルギーの展望と課題」

エネルギーは日々の生活やビジネスに不可欠であるだけでなく、持続性の観点からも重要な位置を占めます。SDGs で定める 17 の目標でも、エネルギーが主役である SDG7 にとどまらず、気候変動 (同 13) の中心にあるのもエネルギー部門です。さらに、水資源 (同 6)、大気汚染 (同 3.9) といった多くの分野と密接に関わります。

そのエネルギーの市場構造がダイナミックな転換期にあります。地球を共有する各アクターは何をなしえるのでしょうか。各国固有の条件とともに、大局観も失わずに議論と行動を重ねることが大切です。その一助となるべく、様々な要素が織りなす世界の潮流を鳥瞰し、持続可能なシナリオとの乖離、浮き彫りになる課題を見ていきます。



林 礼子

東京大学教養学科国際関係論学科卒業、東京大学大学院教育社会学研究科修士課程修了、シティバンク NA (国際金融本部)、パリバ証券 (国際金融部)、メリルリンチ証券会社 (資本市場本部資本市場グループ部長等)、メリルリンチ日本証券株式会社 (債券資本市場部長) を経て、2017 年同社資本市場部門会長に就任。2019 年同社取締役副社長就任。同社の Philanthropy Committee Chair、LGBT+Ally

ネットワーク Co-Chair を務める。日本証券業協会 SDGs 推進に関する懇談会委員、国際資本市場協会 (ICMA) 理事、政策研究大学院大学監事等。

「サステナブル・ファイナンスの動向」

日本でも ESG 投資や SDGs が浸透し始めてきました。持続可能な世界の実現にとって、公的資金のみならず、民間資金の活用が不可欠ですが、実際に資本市場がどのように取り組んでいるのか、内外の状況とその課題について解説します。



大嶋 和香子

米国ワシントン D.C.、バージニア州弁護士。ワシントン D.C. にて WTO 訴訟専門弁護士事務所勤務後、Shearman & Sterling LLP に勤務。弁護士事務所での知識・経験を活かし、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社、GE インターナショナル、日本アルカテル・ルーセント株式会社等にて社内法務に携わり、数社において法務部長を歴任。スイス ベルン大学国際貿易研究所 (World Trade Institute) 第 7 期

生 法学修士 (summa cum laude)。国連グローバルコンパクト ネットワーク・ジャパン「明日の経営を考える会」第 7 期生。

「WTO と SDGs- 持続可能な貿易の形」

2030 年を目標年度とする SDGs。人類の発展を支えてきた貿易 (国境を越えた人・物・サービスの動き) ルールの取り決めを行う WTO との関連性や、変わりゆく地球環境、社会の枠組みに即したこれからの「持続可能な貿易の形」について考察します。